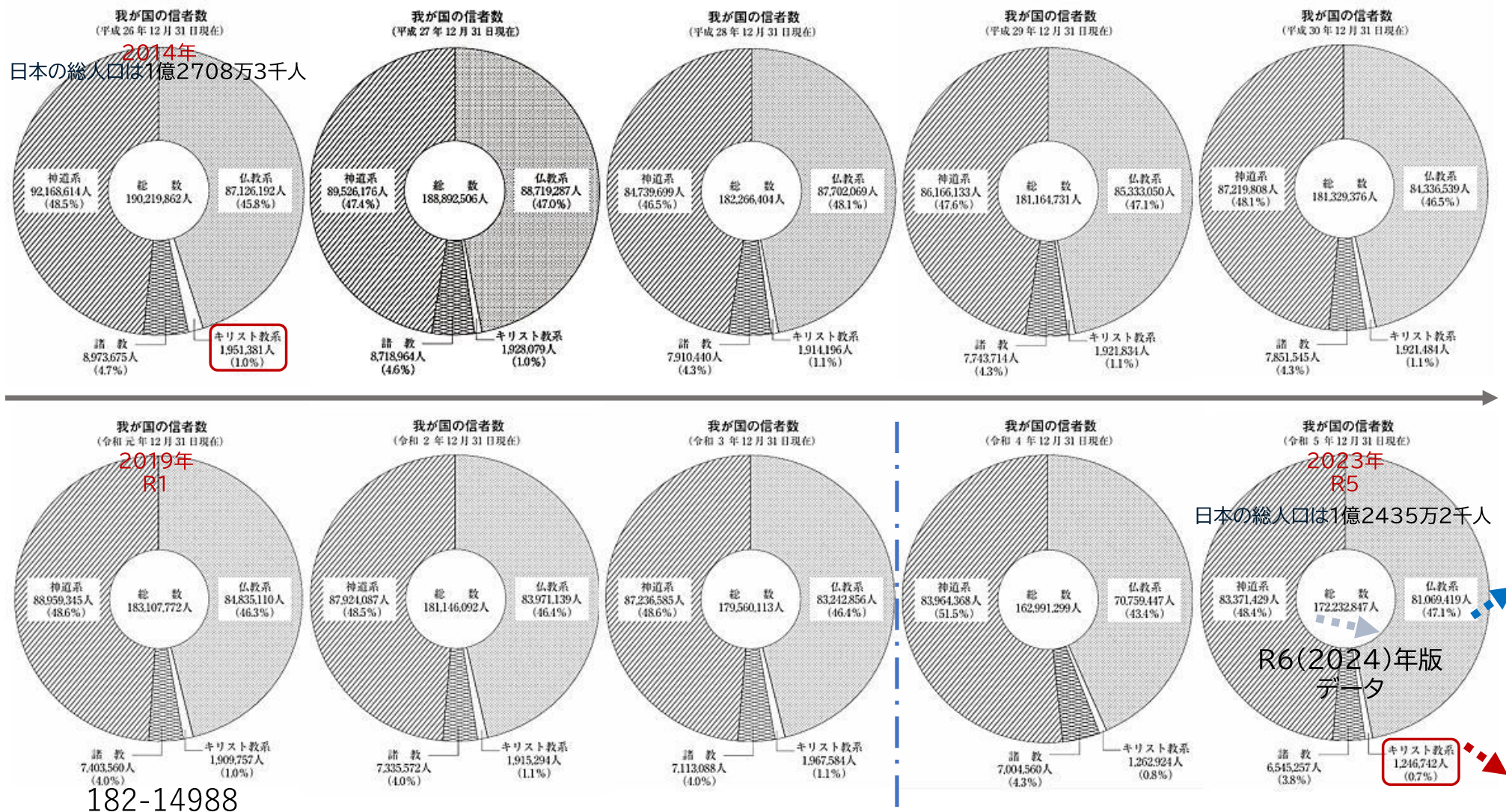


ルツとエステル
Ruth *and* Esther



エステルとモルデカイの時代と同様に、
今日においても**主は、神の真理と神の民とを擁護される**
国と指導者 第49章 王妃エステルの決心 希望への光P.611

宗教年鑑(H27～R6年版) 文化庁編(抜粋)



自分の魂の救いにかかわる問題である以上、人は自分で聖書を探究しなければならない。

His soul's salvation is at stake, and he should search the Scriptures for himself.

各時代の希望 第37章 ただ1つの防壁 希望への光 P.1890

あなたは、まず研究に入るにあたって、先入観、すなわち自分のもっている先天的、後天的の考えを捨てなければならない。自分の意見を支持する目的で、聖書を探究するならば、決して真理を発見することはできない。主は、一体、なんと言っておられるかということを学ぶために、探究しなければならない。探究しているうちに、強く心に感銘を受け、たとえ、自説が真理と一致していないことがわかって、それに合わせようとして、真理を曲解せずに、与えられた光を受け入れなければならない。神の言葉の中から驚くべきものを見ることができるように、心を開かなければならない。

キリストの実物教訓 第8章 隠された宝物 宝の探究 希望への光 P.1226

キリストの御霊(みたま)のうちにあって聖書を探求する者は、必ず報いを受けます。人が幼子のような心で教えを受け入れ、全く神に従おうとするならば、神の言葉の中に真理を見いだすことができます。

もし人々が神に従順であるなら、神の支配のご計画を理解できるでしょう。天の世界は、恵みと栄光の宝庫を人々の前に開き、探求することを許してくれるのです。人間は今とはまったく違った存在になるでしょう。なぜなら、真理という鉱脈を深く探ることによって、人は気高い存在へと変えられていくからです。贖いの神秘、キリストの受肉、そしてその贖罪のいけにえは、今のようにぼんやりした理解ではなく、もっと深く、もっと正しく理解され、はるかに尊く大切に思われるようになるでしょう。

キリストの実物教訓 第8章 隠された宝物 探究の報い 希望への光 P.1227

(上記文章は原文に基づき訳したもので、希望への光等に記されている表記とは異なります)

4

キリスト



サタン

(4:1)



残す 生まれる 厚意 果たす 長老 楽しい

なさる 帰る 息子 ルツ しゅうとめ

来る ユダ 離れる 農夫 固い

親戚 **ボアズ** 婦人 落ち穂

大麦 祝福 ナオミ 拾う 娘よ

刈り入れる 言う 二人 集める

ベツレヘム 責任 一人 一族

死ぬ 一緒 おく 座る イスラエル 暗い

マフロン 麦打ち

ルツ記 Ruth

☀ ルツ記は士師の時代(不安定で靈的に墮落していた時代)に起こった物語で、モアブ人の女性ルツとその義母ナオミの忠実な歩みが描かれている。

→神様が伝えようとしているメッセージ:忠実さと誠実さは祝福を齎す。

☀ ルツはナオミに対して忠実で、神を信じて行動します。その結果、**ボアズ**と結婚し、ダビデ王の先祖となります。

↓
キリストの予型

→神は異邦人であっても、忠実な者を用い、祝福される。

→神は目に見えなくても、私たちの日常の中に確かに働いておられる。

☀ 神の恵みは民族や出自を超える。

→モアブ人であるルツが、イスラエルの祝福の系譜に組み込まれています。

→神の愛と救いはすべての人に開かれている。

モアブ人: 女性の神アシタロテや人身供犠を伴う偶像 **ケモシュ** (Chemosh) を拝むもので、偶像崇拝が特徴。また、モアブ人は、イスラエルとの歴史を通じて、しばしば敵対的な関係にあった。



ルツ記1：15

ナオミは言った。「あのとおり、**あなたの相嫁**は自分の民、**自分の神**のもとへ帰って行こうとしている。あなたも後を追って行きなさい。」

あなたの相嫁=オルパ

自分の神=her gods**s**=モアブの神々 →**ケモシュ**

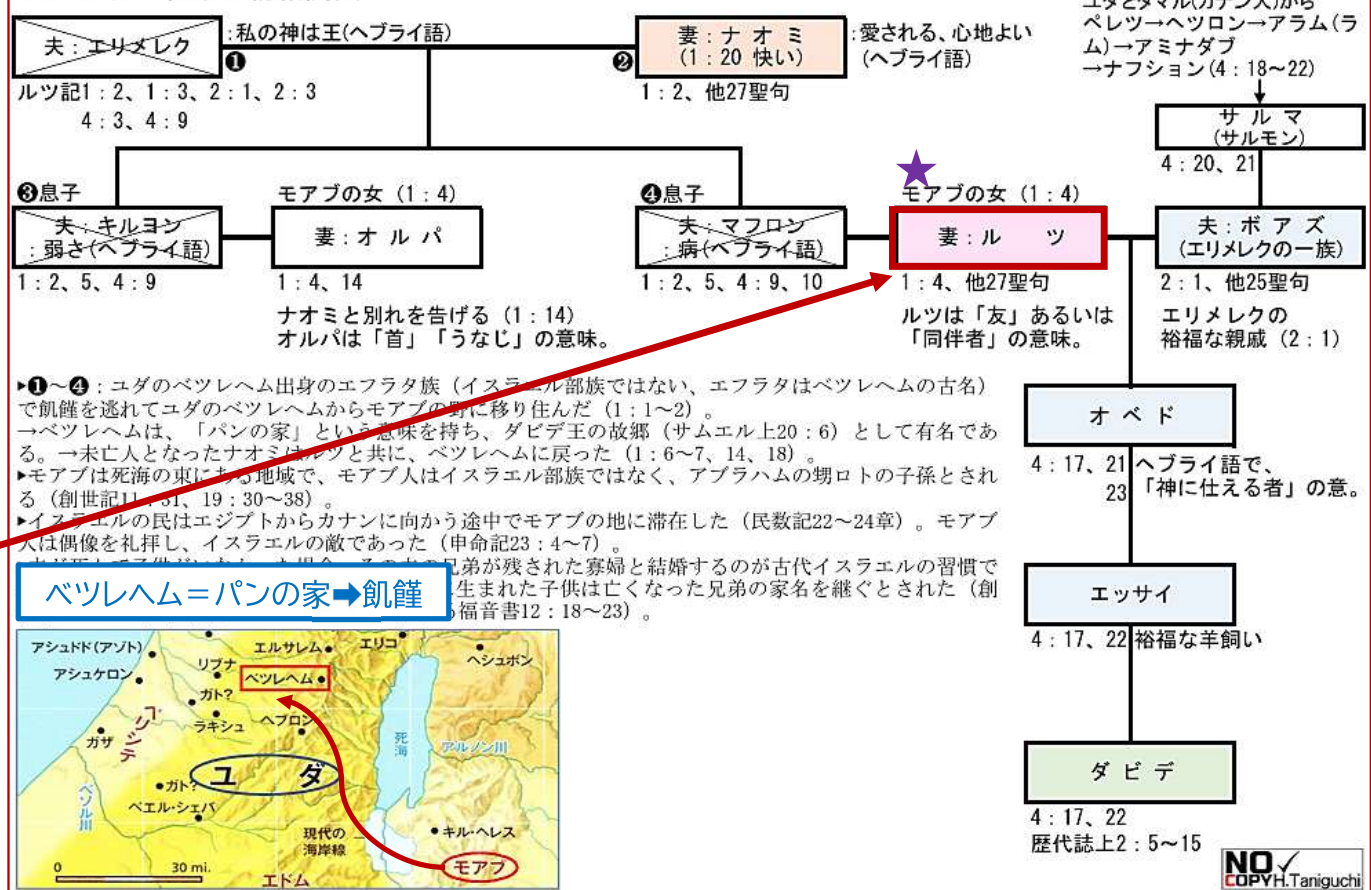
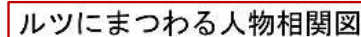
民21：29

士11：24

列上11：7、33

列下23：13

エレ48：7、13、46



試練の中でも、神は決してご自分の民を見捨てず、共におられます。

➡信仰、神の見えざる御手、神の愛、懲らしめ



共通点	ルツ（内面の美しさ）	エステル（2:7,15）
女性が主人公	ルツ記の主人公	エステル記の主人公
異邦人の立場から神の民と関わった	モアブ人(イスラエルの敵国の出身)だが、義母ナオミに従ってイスラエルへ行く	ペルシア帝国のユダヤ人だが、異国でクセルクセスの王妃となった
忠誠心・信仰・勇気をもって行動した	ナオミへの 忠誠(愛) と 神への信仰 でボアズと結婚し、ダビデ王家の祖先となる	民族の危機に際して命がけで王に願い出てユダヤ人を救う、恐れを超えて、 信仰と使命に生きる勇気 →7章
神の摂理(導き)が静かに働いている	奇跡的な出来事ではなく、 日常での神の計画	神の名は一度も出てこないが、見えない神の導きがある／ 神は沈黙しているように見えても、その背後で確かに民を守り、救いを導いておられる(➡神の見えざる御手)
メシアとの関係	ダビデ王の曾祖母であり、イエス・キリストの祖先(マタイ1章)	メシアの系図には直接登場しないが、ユダヤ民族を逆転で救い、メシア誕生の道を守った

試練(試し)について聖書は

申 命 記	8:2 あなたの神、主が導かれたこの四十年の荒れ野の旅を思い起こしなさい。こうして主はあなたを苦しめて試し、あなたの心にあること、すなわち御自分の戒めを守るかどうかを知ろうとされた。
	8:16 あなたの先祖が味わったことのないマナを荒れ野で食べさせてくださった。それは、あなたを苦しめて試し、ついには幸福にするためであった。
	13:4 その預言者や夢占いをする者の言葉に耳を貸してはならない。あなたたちの神、主はあなたたちを試し、心を尽くし、魂を尽くして、あなたたちの神、主を愛するかどうかを知ろうとされるからである。
コリント信徒への手紙 I	10:13 あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはずです。神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます。
ヘブライ人への手紙	3:8 荒れ野で試練を受けたころ、/神に反抗したときのように、/心をかたくなにすることはならない(≡心を閉ざしてはいけません)。
ヤコブの手紙	1:2 わたしの兄弟たち、いろいろな試練に出会うときは、この上ない喜びと思いなさい。
	1:12 試練を耐え忍ぶ人は幸いです。その人は適格者と認められ、神を愛する人々に約束された命の冠をいただくからです。

ペ ト ロ の 手 紙 I	1:6 それゆえ、あなたがたは、心から喜んでいるのです。今しばらくの間、いろいろな試練に悩まねばならないかもしれませんが、 1:7 あなたがたの信仰は、その試練によって本物と証明され、火で精錬されながらも朽ちるほかない金よりはるかに尊くて、イエス・キリストが現れるときには、称賛と光栄と誉れとをもたらすのです。
ペ ト ロ の 手 紙 II	2:9 主は、信仰のあつい人を試練から救い出す一方、正しくない者たちを罰し、裁きの日まで閉じ込めておくべきだと考えておられます。
ヨ ハ ネ の 黙 示 録	3:10 あなたは忍耐についてのわたしの言葉を守った。それゆえ、地上に住む人々を試すため全世界に來ようとしている試練の時に、わたしもあなたを守ろう。

temptation = **πειρασμός** peirasmós, pi-ras-mos' パイラスモアス; a putting to proof (by experiment (of good), experience (of evil), solicitation, discipline or provocation); by implication, adversity:—temptation, × try. : 証明すること (実験 (善の)、経験 (悪の)、懇願、懲罰または挑発によって)。暗に、逆境によって: 誘惑、× 試み。

☞見よ、わたしはあなたと共にいる。あなたがどこへ行っても、わたしはあなたを守り、必ずこの土地に連れ帰る (聖書協会共同訳: 連れ戻す)。わたしは、あなたに約束したことを果たすまで決して見捨てない (創世記 28:15)。

